

9/29-9/29

# 飲食料品値上げ 2067品目

## 9月 通年では昨年上回る3.1万品超

帝国データバンクが8月31日に発表した主要な食品メーカー195社の価格改定動向調査によると、家庭用を中心とした9月の飲食料品値上げは合計で2067品目に上りました。

全食品分野（加工食品、調味料、酒類・飲料、菓子、乳製品）で値上げが最も多いのは、みそ・しょうゆ・だし関連製品が対象となる「調味料」で1257品目。チルド・冷凍食品や乾麺製品、肉製品が中心とな

る「加工食品」（490品目）、柿の種やチョコレート菓子などの「菓子」（206品目）が続きました。

昨年9月（2920品目）と比較して、飲食料品の値上げ品目数は約7割の水準に減少。8月に続き、値上げが本格化した2022年以降、初めて2カ月連続で前年同月を下回りました。一方でスパイス製品、アイス・水菓類などは再値上げを実施。鏡餅や切り餅なども値上げ予定で、値上げ

食品のジャンルは前年同月よりも広がりました。

23年初めから11月までの値上げ品目数は、既に実施されたものや今後予定のものも含めて累計3万1036品目。昨年1年間の2万5708品目を既に上回っています。

帝国データバンクは「バブル崩壊以降で類を見ない記録的な値上げラッシュとなっている」と強調。さらに、原油・ガソリン価格の上昇や1リットル40円台の

田安水準の長期化などを理由に「24年以降に値上げが持ち越される可能性もある」と指摘しています。